

学校法人 こおりやま東都学園



郡山健康科学専門学校
東都国際ビジネス専門学校

学校報

発行 学校法人こおりやま東都学園
編集 郡山健康科学専門学校 広報委員会

〒963-8834
福島県郡山市図景2-9-3
TEL.024-936-7777

Vol.43

令和2年1月20日発行



日本語学科 新入生一同



日本語学科開設



令和元年10月に日本語学科を開設いたしました。現在、中国から来た7名の学生が勉学に励んでいます。日本語学科では、日本語を母語としない方を対象に日本語を教えています。ゆくゆくは本校の介護福祉学科へ進学し、介護福祉士をめざします。介護業界は今、深刻な人手不足に陥っており、その担い手として外国人の人材が必要とされています。そこで、優秀な人材を育成するためにも、まず本学科で日本語はもちろん、日本の文化やマナーを学び、日本社会へ踏み出す力を身につけます。

日本語はひらがな・カタカナ・漢字が使われており、習得することが難しい言語の一つでもあります。私たちが普段使っている『日本語』も本来の意味とは違う意味で使われているケースがたくさんあります。他にも、日本語特有の『気遣い』の表現や言い回しも多く、私たち日本人でさえも、時に言葉の使い方について戸惑います。

本学科では、そういった外国人にとって難解とされる日本語を直接法で教えています。直接法とは媒介語（英語や中国語）を使わずに、すべて日本語で教える方法です。初めから日本語で教えることで学生の聴く力、話す力がより伸びると考えられています。そのため、本学科では、媒介語は必要最低限の部分でしか使用せず、それ以外は全て日本語で話すことを心掛けています。

今後は、授業だけでなく同じ学校に日本人学生がたくさんいるという特色を最大限に活かし、交流の機会を増やしていきたいと考えております。さまざまな交流を通して、共に勉学に励んでいる学生同士、切磋琢磨し、着実にステップアップしていけるよう、私たち教員も全力でサポートしたいと思っております。

コンテンツ

- 1P：日本語学科開設
- 2P：ケアフェスふくしま／実習指導者会議
- 3P：東北理学療法学会／福島県作業療法学会
- 4P：実習を通して
- 5P：認定実技審査／キッズ東都学園保育所だより
- 6P：理事長就任のご挨拶
- 7P：台風19号災害義援金／献血／1～4月学科行事予定
- 8P：学校説明会・入試日程のご案内

介護福祉学科 ケアフェスふくしま

11月24日(日) ビッグパレットふくしまにて開催された「ケアフェスふくしま」に介護福祉学科学生と教員が参加して参りました。

当日は、県内の養成校・福祉機器を取り扱う企業等様々な団体が一堂に会して会場を盛り上げました。普段、「介護」にかかわりの少ない小学生からお年寄りまで沢山の方々にご来場いただき、養成校学生による介護体験講座や最新の福祉機器の体験まで多彩な催しが行われました。

本校のブースにも多くの方々がお越しになり、様々なお話をさせて頂きました。メインの“あるある探検隊”でおなじみ、お笑い芸人レギュラーの介護にまつわる漫才はとても興味深く、漫才というよりも、会場を走り回って来場者を巻き込んだ講演のように見え、「笑い」と「介護」がうまく融合していたように感じました。

会場のみなさんが一体となって作られる素晴らしいイベント「ケアフェスふくしま」来年も開催いたしますので是非会場でお待ちしております！



こども未来学科 実習指導者会議開催

10月26日(土) 本校を会場に、こども未来学科実習指導者会議を開催いたしました。今年台風19号の影響で、出席予定だった施設が欠席する事態もありましたが、合計16施設(保育所7施設、児童福祉関係施設9施設)の実習指導者の方たちが参加してくださいました。本校の学生状況や実習指導の流れ、学習内容などを全体会で説明した後、保育所と児童福祉関係施設に分かれて分科会を行いました。分科会では、各保育所や施設で実習生を受け入れるにあたって、工夫されていることや、課題などを話し合い、互いに抱えていた実習に対する疑問点も解消することができたのではないかと感じました。

「保育士」という人材が社会から求められる中で、保育士の質や就労継続などの課題も山積しており、保育士養成は、現在、過渡期にあります。まずは、実習へ送り出す養成校と実習を受け入れる施設、そして学生たちが主体となつて実習を行なうための体制を整えていくことが、養成校としての使命でもあると思います。今後このような会を大切にしながら、養成校と現場が顔の見える関係作りをしていき、より良い保育士養成に取り組んでいきたいと考えています。

第37回東北理学療法学会

9月14日(土)に福島県福島市で開催されました「第37回東北理学療法学会」に、理学療法学科の1年生から3年生の学生全員が参加してきました。参加した学生の感想を紹介します。



理学療法学科3年
速水 愛理さん

(福島県立小名浜高校出身)

『東北学会に足を運んで感じたこと』
「学会」と聞くと、難しいイメージを抱えていることが多いと思います。

私も参加するまでは自分が参加しても理解できないし、楽しめないだろうと思っていました。しかし、実際に参加し、講義を聞くと、分かりやすく話をしてくださる先生が多く、理解できないと感じることはありませんでした。理学療法に対する賛否両論の意見を聞けたり、実際の症例を用いた問題を会場参加型と一緒に考えることが出来たり、口述発表を聞くことができたり、とても有意義な時間を過ごすことができました。

さまざまな話を聞くことで、自分の中での理学療法士に対する意識が少し変化したようにも思います。この経験を今後の学習に活かしていきたいと思います。



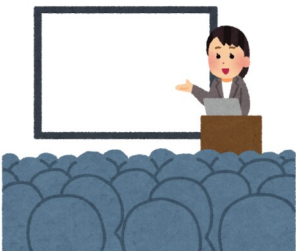
福島県作業療法学会

10月27日(日)に開催された福島県作業療法学会に、作業療法学科3年生が参加し、講義内で取り組んだ研究を発表いたしました。今年は台風の影響で予定されていた会場が使用できず、急きよ本校での開催となりましたが、臨床の先生方の熱意を肌で感じる有意義な学会となりました。

福島県作業療法学会では演題発表の機会を毎年いただき、今年度も学内で研究を進めた4つの演題を発表いたしました。発表者は臨床に従事されている作業療法士の先生から質問やアドバイスをいただき、緊張しながらの発表ではありましたが貴重な機会となりました。

学会では諸先輩方の発表を拝聴するほか、国際医療福祉大学 陣内大輔先生のご講演をお聞きし、これから望む臨床実習においてどのように取り組み、学修していくべきかを改めて認識する機会となりました。

貴重な機会をいただきました福島県作業療法士会様をはじめ、関係者の皆様にご場をお借りして感謝申し上げます。



実習を通して

ご指導いただきました先生・実習施設の皆さま、
ありがとうございました。

こども未来学科



2年 生天目 璃音さん
(福島県立岩瀬農業高校出身)

私は、10月に郡山市成田保育所で最後の実習を行いました。今回の実習では、先生方から沢山のご指導をいただき、1日保育士になるという経験をし、とても学びの深い実習になりました。子ども達からの「先生、大好き」の言葉で更に保育士になるという思いも強くなり、この言葉を励みに残りの学校生活も頑張っていきたいです。そして4月には、自信を持って子どもたちに会えるよう学習に励みたいと思います。



介護福祉学科



1年 馬場 琉斗さん
(福島県立南会津高校出身)

後期の施設実習で私が学んだことは、「他者への声かけの大切さ」でした。ただの声かけではなく、安心して生活していただけるような前向きな声かけを学ぶことができました。何事も声かけをすることによって利用者様と自分自身も安心・安全を保つことができます。また、職員同士の声かけでも利用者様の情報を共有し事故を未然に防ぐことができます。これらの経験を通して次の実習でより実践的な声かけを学んでいきたいです。



メンタルスポーツ 柔道整復学科

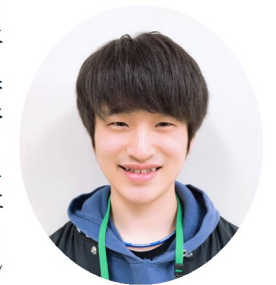


2年 岩田 航さん
(福島県立葵高校出身)

昨年に引き続き、今年も校内にある附属キース鍼灸接骨院にて臨床実習をさせていただきました。昨年は全くの手探り状態でしたが、今年は症状からいくつかの疾患を導き出せるようになりました。しかし、そこから一つの疾患に絞り込むための鑑別方法や、その治療方法が分からず、臨床現場で通用するためには更に知識を深める必要があると感じました。次年度に向けて、特に不足していると感じた柔道整復学理論や解剖学を復習し、卒業後の現場で活躍できるよう頑張りたいと思います。



作業療法学科



3年 菅野 勇杜さん
(福島県立安達高校出身)

私は評価実習で埼玉県の病院にお世話になりました。初めての長期実習で、初めての一人暮らしという事もあり、とても不安で緊張していました。しかし、病院の先生方の温かいご指導のおかげで不安もなくなり、充実した実習を行うことができました。普段の学校の勉強だけでは経験することのできない、患者様との関わりを通して一生忘れられない経験を得ることができました。今後の実習もこの経験を大切に臨んでいきたいです。



理学療法学科



4年 横澤 翔さん
(福島県立喜多方高校出身)

4学年では2度の臨床実習を経験し、患者様を実際に担当させていただきました。これまで勉強してきた知識や繰り返し練習した評価・治療手技でもやはり不十分で、何度も悩み、立ち止まってしまいました。しかし、先生方のご指導もあり、自分なりの答えを導き出すことができました。実習を通して感じた課題や目標は、今の学びの糧となっています。臨床実習は患者様の生活に関わる重要さとその責任を自覚する貴重な時間でした。



令和元年度柔道整復学科 認定実技審査結果報告

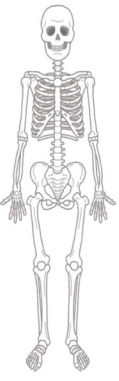
10月27日(日)公益財団法人柔道整復研修試験財団から外部審査員3名が来校し、認定実技審査(国家試験実技)が行われました。

実技審査は、骨折、脱臼、軟部組織損傷の診察・整復・検査から1題、骨折固定、脱臼固定、テーピングも含めた軟部組織損傷固定から1題、計2題を行います。続いて柔道は、身嗜み、礼法、受身、乱取、投の形を行います。3年間の集大成として、昨年3月より実技の集中講義を行い、全員合格をめざし日々練習を行なってきました。

その努力が実り、整復固定実技、柔道実技共に全員がA評価をいただき、好成績で無事に合格することができました。

下級生の中から患者役と助手役を務めた6名は、3か月間3年生と共に補講を受け、協力してきた事で非常に良い経験を積み、更に知識が高まったと思います。

来年はこの6名が認定実技試験に向けて中心となり、好成績で全員が合格できるように学科教員全員でサポートして参りたいと思います。



キッズ東都学園保育所の発表会を終えて

キッズ東都学園保育所では、本校第三校舎の模擬保育実習室に保護者の方を呼びつけて発表会を行いました。

子ども達が普段から楽しんでいる「パチパチパレード」「夢のパレード」のダンスと、子ども達の好きな絵本の「おべんとうバス」「はらぺこあおむし」の物語を基にした劇遊びを発表しました。ダンスは、今年の東都祭のオープニングで発表する予定だったもので、台風の影響で中止となり披露できずにいました。今回の発表会が保護者の方に見ていただく機会となり、保護者の方も我が子の可愛い様子や成長した姿にカメラを向けながら楽しんでくださいました。

保育士達は、日頃の生活の中で、子ども達の興味や関心の高まり、体の動きに目を向け、その中から、ダンスや表現遊びが広がるよう工夫してきました。緊張しながらも笑顔で発表できた子、大勢のお客様を前に緊張や不安で泣いてしまった子もいましたが、良い経験になっていくよう、今後の保育にも繋げていきたいと思えます。また、発表する体験から、子ども達の成長や保育の課題点も見えてきました。行事活動と日頃の保育が、子ども達の人間性を豊かにするものとなるよう、日々、子ども達との生活を大切に送りたいと思います。



理事長就任のご挨拶

頌春2020年 年末及び年頭には、ご丁寧なお便り並びに年始状をいただき、ありがとうございます。この場をお借りして皆様に御礼申しあげます。

2019年8月1日の高橋傑理事長の急逝に伴い、同年9月3日及び2020年1月10日に開催された理事会において、全会一致により理事長に選任され就任しました。皆様のご期待にお応えできるよう、より一層の努力をしまる所存ですので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、私の職業人生は1986年に都内をはじめ関東圏の学習塾及び予備校からスタートし、その後、半ば騙されて95年に本学園へ勤めたことから第二の教育業がリスタートしました。あれから十二支が二回り24年余りの時間が流れ、その間、万年専務として、あだ名が「センム」となるほど掌ってきましたが、この本学園での四半世紀は、私の人生にとって壮絶極まりない修羅場でもあり、それと同時に数々の決断に迫られる時間でもありました。

振り返れば多くの方々にご迷惑をおかけしましたし、一方では多くの方々にご支援をいただきました。自らではどうしようもない現実が存在する以上、それと対峙しなければならず、嫌でも自分の方が変わるしかありませんでした。これこそが試練だというばかりに、今までの自分の器では到底もちこたえられないほど、自らの生き方や考え方を再点検する必要に迫られました。

本学園の寄附行為の目的には、『この法人は、教育基本法及び学校教育法に従い、職業教育を行い、地域社会に役立つ存在として、地域社会になくはならない専門技術者を育成することを目的とする。』と定められています。また、名刺をはじめ、キャッチコピーとして、『学生を主語に専門学校を科学する』と掲げ

られています。これらは、15年以上前のある事件を契機に、私が目的変更等のイニシアチブをとって改革したものです。就任にあたり、この目的のとおり、改めて本校がより存在意義のある、そして存在価値のある学校にしていくことが私の使命であると考えています。その達成のために、時代の変化に呼応すべく志願者のめざす未来と地域社会や医療福祉機関のニーズを踏まえ、現行の諸事業の方向性を再確認しながら、教職員一人ひとりが何を必要があるのか？を常に提起しつつ、次世代へ向けた新しい事業を皆さんと共に創造していきたいと考えています。

本学生と教職員、そして本学園と関わるすべての方々豊かな人生のためにも、教育や経営に携わることができるといふ感謝の気持ちを忘れずに、地域社会延いては福島県に貢献できるよう、専門学校として専門学校ならではの地元就職力を発揮しながら、地方創生においても一翼を担うことを自覚し、常に最悪のことを考えて最善を尽くすべく日々努めてまいります。

令和二年一月

学校法人こおりやま東都学園

郡山健康科学専門学校

東都国際ビジネス専門学校

理事長 大本 研二



台風19号災害義援金

10月13日の台風19号では福島県内においても甚大な被害が出ました。本校も休講を余儀なくされ、浸水被害を受けた学生も数名おりました。被災された方々の中には未だ生活再建の見通しが立たず避難所で新しい年を迎えざるを得ない方もいらっしゃることで一日も早い復旧・復興を願っております。

本校においても台風19号災害義援金を募集したところ、3万3千176円の善意が寄せられました。心ばかりの金額ですが、学校を代表して作業療法学科3年藤原 克さん（福島県立福島東高校出身）より日本赤十字社福島県支部の篠木 敏明事務局長にお渡しさせて頂きました。



献血に協力しました

本校では年2回、春と秋に献血活動を行なっています。今年2回目の献血を2019年11月12日（火）に実施しました。2000ミリ献血が6名、4000ミリ献血が55名と計61名の方が協力してくださいました。今回は台風19号の影響で、全国で5000人分の献血確保ができない状況のなか、本校では多くの学生が協力してくれました。

医療・福祉従事者を育成する立場から、献血の必要性や献血を行う場の提供など、積極的に協力していきたいと考えております。次回開催は2020年5月頃を予定しております。皆様のご協力のほど、よろしく願います。



春 1月～4月学科行事予定



◆全学科共通
卒業式 3月6日（金）
入学式 4月4日（土）

◆こども未来学科

- 1年生…保育実習Ⅰ（保育所） 2月17日（月）～2月29日（土）
- 1年生…施設体験学習 3月～

◆介護福祉学科

- 2年生…第32回介護福祉士国家試験 1月26日（日）
- 1～2年生…福島県介護を学ぶ学生の研究交流会 2月20日（木）

◆メディアカルスポーツ柔道整復学科

- 2年生…解剖学実習 2月3日（月）～2月4日（火）
- 1年生…運動の科学Ⅰ特別講義 2月18日（月）～2月19日（火）
- 3年生…第28回柔道整復師国家試験 3月1日（日）

◆理学療法学科

- 3年生…評価実習 1月6日（月）～1月31日（金）
- 2年生…解剖学実習特別講義 1月23日（木）
- 2年生…解剖学実習 2月3日（月）～2月4日（火）
- 1～3年生…三科目模擬試験対策 2月17日（月）～2月28日（金）
- 4年生…第55回理学療法士国家試験 2月23日（日）
- 3年…ジョブカードセミナー 2月25日（火）
- 1～3年生…三科目模擬試験 3月2日（月）

◆作業療法学科

- 3年生…評価実習 1月14日（火）～1月31日（金）
- 2年生…解剖学実習特別講義 1月23日（木）
- 2年生…解剖学実習 2月3日（月）～2月4日（火）
- 1～3年生…三科目模擬試験対策 2月17日（月）～2月28日（金）
- 4年生…第55回作業療法士国家試験 2月23日（日）
- 3年…ジョブカードセミナー 2月25日（火）
- 1～3年生…三科目模擬試験 3月2日（月）

◆日本語学科

- お正月体験 1月8日（水）
- ランチ会 1月22日（水）
- 節分体験 2月3日（月）
- 伝統文化体験 2月19日（水）
- お花見 4月上旬

オープンキャンパス等のご案内

本校では毎月、オープンキャンパスや体験入学等を開催しております。お気軽にご参加ください。

■体験入学

学校説明▶入試説明▶体験授業▶校舎見学▶進路相談

■学校説明会

学校説明▶入試説明▶学科説明▶校舎見学▶進路相談

■オープンキャンパス

全体説明▶OBOG交流▶体験授業/校舎見学▶ランチタイム(学食体験)/進路相談

【2020年】

1/18(土)13:00~15:00	体験入学	2/15(土)13:00~15:00	学校説明会
2/29(土)13:00~15:00	学校説明会	3/28(土)10:00~13:00	オープンキャンパス

これらの日程以外でも、いつでも学校見学・進路相談を受け付けております。

部活動やお仕事で忙しい方、あるいは今すぐ話を聞いてみたい方は、お気軽にお電話ください。



入学試験日程のご案内

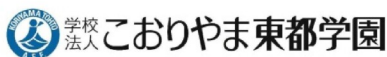
最大80万円免除！リカレント入試 定員残りわずか！



入試名	出願受付期間	試験日	合格発表日
リカレント(※) 就学支援型5期 一般3期	令和2年1月8日(水)から 令和2年1月21日(火)まで	令和2年1月25日(土)	令和2年1月31日(金)
リカレント(※) 指定校推薦2期 就学支援型6期 一般4期	令和2年2月3日(月)から 令和2年2月18日(火)まで	令和2年2月22日(土)	令和2年2月28日(金)
特別選抜(注)	令和2年2月19日(水)から 令和2年3月10日(火)まで	令和2年3月14日(土)	令和2年3月17日(火)

(※) リカレント入学試験(高校を卒業されている方が対象)は、上記日程の他に、随時選抜も対応いたします。学校説明会終了後やご希望の時間帯で受験できます。【要、事前予約】

(注) 特別選抜入学試験は、全学科募集する入試ではありません。最終入試受付締切(令和2年2月18日)後、募集をする学科・選考方法等を決定し、ホームページ等でご案内します。



厚生労働大臣指定 保育士・介護福祉士・柔道整復師・作業療法士・理学療法士 養成校

郡山健康科学専門学校

〒963-8834 福島県郡山市図景2-9-3

FAX 024-936-7778

URL <http://www.k-tohto.ac.jp>

E-mail info@k-tohto.ac.jp

入学相談室 ☎ 0120-367-102

